

[提案]

下水道整備方針はいかなるものか。

保育園～小学校～中学校を一貫制とする教育方針を検討してはどうか。

JR 美祢線ファンクラブをつくり、鉄道を活性化させてはどうか。 (男性)

(回答)

【回答】 下水道の整備について、市民の皆様の良好な生活環境を確保するとともに、河川や農業用水の水質の保全を図るため、公共下水道事業や農業集落排水等に取り組むとともに、合併処理浄化槽の設置に対する補助制度に取り組んでいます。今後も財政面を考慮し、地域に適した効率的な手法により整備を進めてまいります。

保育園～小・中学校一貫学校について、子どもの教育方針として非常に良いアイデアだと思います。しかし、美祢市単独では決定できませんので、市長会等を通して、国に提案していきたいと考えます。

JR美祢線利用促進のため、各種事業を展開しています。駅周辺の活性化には、地元の方の知恵と力が必要であり、地域のまちづくりを推進していく必要がありますので、ぜひご協力をお願いします。(市長)



問合せ先 地域情報課 [☎0837(52)1128]

「明るい家庭」推進標語受賞者の紹介

美東町青少年育成市民会議では、「明るい家庭づくり」を目指した標語を募集し、応募総数304名から平成23年度「明るい家庭」推進標語受賞者（家族合作）が次のとおり決まりました。

優秀賞	最優秀賞	家族には 心のカーテン あけたまま	大田小1年 中島 世翔（礼子）
うれしいな みんなのえがお たからもの ねえきて 親子で話そう 今日の出来事	大田小1年 田中 菜月（穂）		
うれしいな 紗綾木小6年 磯部 菜央（美香） あいさつは 僕が笑うと 笑顔の輪	綾木小6年 宮崎 輝（雄二）		
うれしいな 家族をつなぐ 合い言葉	赤郷小5年 岡田 真侑（健二）		
カブトムシ 家族みんなで さがしたよ 思いやる心が 淳美小2年 松田 千輝（隆治） 深める 家族のきずな	赤郷小5年 岡田 真侑（健二）		
思ひやる心が 美東中1年 難波 啓太（輝昭）	淳美小2年 松田 千輝（隆治）		
盛りあげよう 大田小1年 村田 紗菜（聖子） 「ありがとう」 大田小3年 村田 結菜（聖子） 綾木小2年 鈴木 蓮（まゆ子） 綾木小4年 原田 瑞希斗（幸子） 「ありがとう」 気もちをつたえる だい一步 赤郷小2年 小川 莉々香（徹） しそくたくで あふれるえがお あたたかい 赤郷小5年 山中 あかり（かおり） 復興の力になれと 家族と皆で 笑顔の募金	大田小1年 村田 紗菜（聖子） 綾木小2年 鈴木 蓮（まゆ子） 綾木小4年 原田 瑞希斗（幸子） 赤郷小2年 小川 莉々香（徹） 赤郷小5年 山中 あかり（かおり） 淳美小5年 磯部 亜寿香（健寿） 家族の和 笑顔をつなぐ バトンリレー 淳美小6年 原田 奈津（千栄美） いつも見る 家族の笑顔が 宝物 ひとことが みんなをつなぐ かけ橋に 美東中3年 前田 龍彦（充雄）		

※保護者名の表記が無いものは、生徒のみの作品

問合せ先 美東町青少年育成市民会議(08396(2)5555)

病院だより35

おまかせください 在宅看護

美祢市訪問看護ステーション



平成21年4月、旧美祢市の

訪問看護ステーションみねと
旧美祢郡の美秋訪問看護ス
テーションが合併して『美祢市

訪問看護ステーション』とし
て、秋芳総合支所の一角に事務
所を置き新たな出発をしまし
た。

美祢市訪問看護ステーショ
ンは、「目くばり・気くばり・心
くばりで、笑顔と真心をあな
たに 住み慣れたご自宅での
療養生活を支援します」をモッ
トに、紫外線の厳しい暑い夏
も、車ごと飛ばされそうな台
風の時も、雪がシンシンと降
る時も(状況によつては検討し

ます)美祢の季節を感じなが
ら5人のスタッフが利用者の
自宅に訪問しています。24時
間対応であるため、夜間でも、
必要に応じて訪問をしていま
す。訪問看護について、まだま
だ知らない人も多いと思いま
す。この機会に少しでも理解
を深めていただききっかけに
なればと思います。

現在、訪問看護の利用者は
約80人で、疾患的には脳梗塞・
糖尿病・難病・認知症など様々
です。在宅酸素を使用しなが
らの生活、尿の管を入れてい
る、麻痺がある、透析を受けて
いるなど利用者の状態も様々

ます)の支援(介護者との相
談等)などがあります。
利用者の改善例を具体的に
紹介すると、
①薬の飲み忘れが多く病状が
安定しなかつた人が、訪問
看護を利用後、薬の服用が
スムーズになり、病状が安
定して入退院を繰り返さ
なくなつた。

②床ずれを起こしやすかつた
人が、処置と生活環境改善
等を行い床ずれができなく
なつた。

問看護を利用され、できる限り病
院と同じ医療処置を受けること
で在宅生活が可能になった。
④糖尿病等で食事管理が必要な
ケースで、ヘルパーと連携し食
事管理を行い、安定した調子で
生活できるようになつた。
⑤最期の時を家で過ごしたいと思
われる人に対し、主治医と協力し
ながら支援し、家族に見守られ
静かな最期を迎えた。

問看護を利用され、できる限り病
院と同じ医療処置を受けること
で在宅生活が可能になった。
④糖尿病等で食事管理が必要な
ケースで、ヘルパーと連携し食
事管理を行い、安定した調子で
生活できるようになつた。
⑤最期の時を家で過ごしたいと思
われる人に対し、主治医と協力し
ながら支援し、家族に見守られ
静かな最期を迎えた。

問看護を利用され、できる限り病
院と同じ医療処置を受けること
で在宅生活が可能になった。
④糖尿病等で食事管理が必要な
ケースで、ヘルパーと連携し食
事管理を行い、安定した調子で
生活できるようになつた。
⑤最期の時を家で過ごしたいと思
われる人に対し、主治医と協力し
ながら支援し、家族に見守られ
静かな最期を迎えた。

問看護を利用され、できる限り病
院と同じ医療処置を受けること
で在宅生活が可能になった。
④糖尿病等で食事管理が必要な
ケースで、ヘルパーと連携し食
事管理を行い、安定した調子で
生活できるようになつた。
⑤最期の時を家で過ごしたいと思
われる人に対し、主治医と協力し
ながら支援し、家族に見守られ
静かな最期を迎えた。



問合せ先
訪問看護ステーション
[00837(6)1156]